

第3回あづみのパークコミュニティ会議概要

- 1 日 時 平成28年2月16日 午後10時00分から午後11時30分まで
- 2 会 場 国営アルプスあづみの公園管理センター 2階会議室
- 3 出席者 あづみ野穂高温泉旅館組合 組合長 辻谷洋一、
安曇野ペンション協議会 理事長 薄井満介、
安曇野案内人倶楽部 代表 等々力秀和、
安曇野市観光協会 副会長（(株)ほりで一ゆー 代表取締役） 太田謙
掘金地域 岩原区長 内野重世、
穂高地域 牧区区長 小林直美
岩原の自然と文化を守り育てる会 事務局長 南 健児
国営アルプスあづみの公園事務所 事務所長 佐藤幸基、調査設計課長 奈良憲孝、
建設専門官 遠藤正明
国営アルプスあづみの公園管理センター 管理センター長 緒方京一、企画課長補佐 合田健太郎、
安曇野建設事務所 所長 下里 巖 維持管理課 管理係担当係長 平林茂、
長野県鳥川溪谷緑地 環境管理事務所 所長 佐々木俊之
安曇野市 農林部農政課 主任 丸山みどり、教育委員会文化課 課長補佐 山田真一、
都市建設部 部長 横山正、都市建設部都市計画課 課長 細萱雅男、課長補佐
大月力三、主査 内田日出夫
- 4 会議概要 作成年月日 平成28年3月4日

協議事項等

I. 会議の概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会議事項
 - (1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供
 - (2) 県営鳥川溪谷緑地からの情報提供
 - (3) その他情報提供
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
- 6 閉会

II 議事の概要

- 1 開会
薄井副会長
- 2 あいさつ
辻谷会長

おはようございます。気温が20度になったりマイナス10度になったりと大変な天気でございますが、こ

のたび第3回ということになります。今年は6月に国営公園の里山文化ゾーンがオープンになるとのこと
でございますので、本日もご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

佐藤国営アルプスあづみの公園事務所長

皆さんおはようございます。国営アルプスあづみの公園事務所長の佐藤でございます。日頃より国営公園の整備、管理運営に関しましてご支援ご協力を賜りましてこの場をお借りしまして御礼申し上げます。先ほど会長からお話がありましたが、Ⅲ期地区の整備を進めておりまして、新たに田園文化ゾーンの南側になりますが、里山文化ゾーンを追加開園しこれで全面開園となります。まだ日時は内部でつめておりますので、公表はできない状況です。作ったあと、この公園をどう使うかということはいろいろな方のお知恵をお借りして国営公園の使命であります誘客と満足度の向上をしっかりと進めていかなければなりませんので第3回のあづみのパークコミュニティ会議を活用し、ご意見を伺いながら進めていきたいと思っております。今日は活発なご議論をお願いしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

安曇野建設事務所長

皆さんおはようございます。安曇野建設事務所所長の下里巖でございます。皆様方には日頃から県の建設行政にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。私達の管理しております烏川緑地は、自然とふれあい自然を感じていただける公園として多くの方にご利用いただいているところでございますが、昨年の4月17日から環境への影響を考慮しバーベキューを全面禁止としております。禁止に伴うトラブルを心配しておりましたが、特にございませんでした。後程ご説明申し上げますが団体の利用が増えましたことで、開園以来最大の来園者数を記録しております。これからも身近に自然を感じていただける公園としてその特徴をいかして利活用を図ってまいりたいと考えております。

安曇野建設事務所の事業ということで、説明させていただきたいと思っておりますが、1月29日に地域高規格道路の松本糸魚川連絡道路の計画案を公表させていただいております。3月3日には観光協会や商工会の皆さまとの勉強会も予定しております。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

この会議を通じて地域の皆様と情報共有することが、地域の振興につながればと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

3 自己紹介

新しく加わった「安曇野市商工会 穂高支所」の宮澤氏より自己紹介がある。

4 協議事項

(1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供

ア平成27年度の入園者数（国営公園管理センター 緒方センター長）

平成27年度は、入園者が1月までで416,011人で昨年より2割近く増加している。連休の並びや天候に恵まれたことによる影響、新規開催の山岳フェスティバル、安曇野国際音楽フェスティバルが増加理由として考えられる。

イ今後のイベントについて（国営公園管理センター 緒方センター長、合田企画課長補佐）

①2016年のイベント（別紙資料へ）

スプリングフェスタ 4/23～5/15

20万本のチューリップ、300匹のこいのぼり、早春賦音楽祭

夏のアルプス大冒険 7/16～8/28

ニジマス掴み取り、本格水上アスレチック「ウォーターアドベンチャー」
夏のイルミネーション 8/10～8/16 (2016年度初の取組)
コスモスの花フェスタ 9/17～10/16
20万本のコスモス、アウトドアイベント
ウインターイルミネーション 11/19～1/9
インドアガーデン 1/2～2/19
10,000本のアイスチューリップ、菜の花等の春の花畑

②Ⅲ期開園地区(里山文化ゾーン)のイベント計画

春のイベント

田んぼ体験「泥んこ代かき」4月下旬、ワラビ摘み体験5月上旬、泥リンピック5月中旬、お田植え祭り5月下旬、田んぼ体験「田植え」5月下旬、オオルリシジミ観察会 5月下旬等

夏のイベント

田んぼ体験、「早朝の田の草取り会」7月、泥リンピック7～8月、田んぼ体験「案山子づくり」7月下旬、早朝の蝶々観察会 8月中旬、早朝の森の遊び場 8月中旬、

秋のイベント

田んぼ体験「レンゲ種まき」田んぼ体験「稲刈り&はぜ掛け」9月下旬、ワタ摘み取体験10月上旬、里山収穫祭 10月上旬、ぬかくどおにぎりのふるまい、餅つき体験&振る舞い、脱穀農機具の体験、蝶々観察会 10月下旬

冬のイベント

蝶々観察会12月、キツツキの巣箱作り12月上旬、氷作りと冬遊び 1月下旬、味噌作り体験2月下旬、森の遊び場 2月下旬

農の風景演出、花修景

レンゲ田の馬耕の風景写真会、昔の農機具展示会、虫おい飾り、こども案山子コンクール、レンゲの花畑、菜の花畑、作物の花畑(ソバ、赤ソバ、ペニバナ)、ひまわり花畑、コスモス花畑の花修景を実施、

(2) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供

- クラブツーリズムの団体利用(5,700人)があり、開園以来初めて4万人を上回った。月ごとの利用者も増加している。
- バーベキューの禁止後、来園者の多い時期に駐車場の長時間駐車が減り、駐車場の回転が速くなったことが、来園者増につながったと思われる。
- 前回会議で指摘のあった国営公園へのアクセス道路沿いの植栽(レンゲツツジ)の改善は、順次枯損木については、撤去を行う予定である。花苗の植栽については、地元とアダプトの協定を結んでいるため、苗、土、肥料、簡単な道具は県で用意できるので地元と協力しながら、取り組んでいくことを考えたい。
(以上 安曇野建設事務所 維持管理課 平林係長)
- 平成28年度烏川溪谷緑地で予定しているイベント計画 (環境管理センター佐々木所長)
動植物観察会・ウォーキング等計28回、参加者総数600名のイベントについて資料により説明がある。
毎回約1か月前に参加募集を行っている。

クラブツーリズムの滞在時間は30分～40分であり、今後、市内観光地を業者に紹介できれば、市内の滞在時間を延ばして、市内で昼食をとるような行程も考えられる。

(3) その他情報提供

ア 安曇野市商工会穂高支所の花桃植栽について (商工会穂高支所 宮澤主任経営指導員)

商工会の合併に伴い穂高支所の剰余金が生じた。これを資金として30年、50年後の穂高地区の景観を考えて「花の里づくり」をしようということになり「穂高花の里づくり委員会」を設立した。平成24年にはハナモモ800本、25年には1200本を穂高地域の各所に植えた。平成26年には1000本を植え、このうち120本は国営公園内のⅡ期地区開園記念植樹として枝垂桜等120本を植樹した経過がある。平成27年も120本を国営公園内に植えており、今後も平成30年までの間に穂高地域内に毎年200～300本の植樹を行う計画である。

「穂高地域に来れば花が咲いていてキレイだね」と言われるようになることを目指している。これまで取り組んだ経験を生かして土付の苗木で確実な定着をしていきたい。

イ 安曇野市内平成28年度観光イベントについて (安曇野市 都市計画課 大月補佐)

- 4/29 第33回早春賦まつり 穂高川右岸早春賦歌碑前
- 5/1～15 (仮) 穂高神社式年遷宮祭オフネ展示 穂高神社北神苑
- 6/12 第2回信州安曇野ハーフマラソン豊科南部総合公園
- 6/9～26 第32回信州安曇野あやめまつり あやめ公園・龍門湊公園
- 7/9～10 (仮) 安曇野山岳フェスタ
- 7/30 第37回あづみの祭り 豊科駅周辺
- 8/5～11 (仮) 山の日映画上映会 穂高学習交流センターみらい
- 8/6 ふるさと夏祭り 三郷文化公園
- 8/6～7 第33回信州安曇野わさび祭り 穂高神社および穂高駅周辺
- 8/14 第10回安曇野花火 御宝田遊水池周辺
- 8/20 第26回信州安曇野(薪)能 豊科公民館ホール
- 9/25 第48回安曇野観光草競馬大会 市営牧運動場
- 10/8～9 (仮) しゃくなげの湯竣工イベント しゃくなげの湯周辺
- 11/5～6 第4回新そばと食の感謝祭 穂高神社

ウ 穂高駅前広場改良工事 (安曇野市 都市計画課 大月補佐)

昭和44年以来の改修工事で、北側をバスやタクシーなどの公共交通の乗降スペース、南側を一般車両の乗降スペースとし、ホテルや旅館の送迎バスについても、中央に配置したフリースペースで送迎場所を確保した。歩道は現在のアスファルト舗装を石張に変更し、市内の駅前広場では初めて、日除けや雨除けのためのシェルターをバスとタクシーの乗降スペースに設置する。工期は平成28年3月～平成29年3月までとし、5/1～15に予定されている穂高神社の御遷宮と夏休み期間の7/20～8/20までの穂高駅利用者の多い時期の工事は行わない。

(4) 意見交換

・鳥川溪谷緑地のイベントの中で、4月のオオルリ観察会と2月のスノーシューハイクは、近隣宿泊施設利用者を対象に行うことが可能。近隣宿泊施設で利用者の送迎をしていただければ、イベントを計画するので、希望される施設の方は相談してほしい。
(環境管理センター佐々木所長)

・夏に新しく行われるイルミネーションの開催時間は、今のところ18時の閉園時間から21時頃までを予定している。場所は森のエリアを利用し、冬のイルミネーションとは違った雰囲気にする予定。

(国営公園管理センター 緒方センター長、合田企画課長補佐)

・穂高駅前広場にある柳は、東京中央区の「銀座の柳」の元祖であり、いわれがあり価値のあるものなので極力大切にしてほしい。
(案内人倶楽部 等々力代表)

・6月に予定されているⅢ期地区(岩原地区)開園前に、山麓線から国営公園の入り口に通じる県道沿いの美化について、県のアダプト制度を利用し地元岩原区と協力しながらこの会議でも花の植栽に取り組みたい。
(安曇野市 都市建設部 都市計画課 細萱課長)

・県のアダプト制度を利用することはよいが、後の管理が続かないとまた草が繁茂する結果となってしまうので、土地の管理者として県が率先して考えてほしい。

(岩原の自然と文化を守り育てる会 南事務局長)

・穂高牧においても山麓線からⅡ期開園地区の入口に通じる市道の歩道沿いに雑草が繁茂して見苦しい。管理について地元と協議をするなど、美化に向けて取り組んでいただきたい。
(小林牧区長)

・Ⅲ期地区(岩原地区)の国営公園内の植栽については、以前から地元で生育していた花木を生かすことを考えていただきたい。また、現在あるため池を改善して農業用水を確保してほしい。

(岩原の自然と文化を守り育てる会 南事務局長)

・Ⅲ期地区の里山文化ゾーンを使って学校団体の農業体験を誘致したいと考えている。この場合、周辺宿泊施設に泊まっていただく仕掛けも作っていききたい。東京・神奈川・愛知からの来園者が多いので、他の国営公園の協力もいただきながら情報発信を予定している。一緒に情報発信したいことがあったら、相談していただきたい。
(国営公園管理センター 緒方センター長)

・学校教育の面でも、Ⅲ期地区の農作業体験のできる場所の活用ができれば、公園の活性化につながる。

(国営公園奈良課長)

・農作業体験により生じた農産物は量的に多くなると考えられるため、販売できるよう要望したい。

(岩原の自然と文化を守り育てる会 南事務局長)

・農作業体験等で栽培した農作物の収穫物は、規則により国営公園内で売ることができないが、イベントの振る舞い等で活用したいと考えている。
(国営公園佐藤事務所長)

(5) その他

次回は、国営公園へのアクセス道路沿いの花の植栽作業と併せて、5月開催とする。

5 閉会

薄井副会長により閉会